

われわれ青年経営者で世界に誇れる日本の未来を創ろう!

第46回 青年経営者全国交流会 in 沖縄



チム

バンコク

シンリョウ

ユインチュ

肝高く
万国津梁を担う
結人たれ!

～まくとうそーけー、
なんくるないさ～

※1

2018年

11月

29日 木

13:30開会

30日 金

12:00閉会

会場

- ロワジュールホテル&スパタワー那覇(全体会、分科会、懇親会)
- パシフィックホテル沖縄(分科会)
- 沖縄産業支援センター館(分科会)

参加費

21,000円
(宿泊・交通費別)

主催

中小企業家同友会全国協議会

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-7-16 市ヶ谷KTビル3F

TEL.03-5215-0877 FAX.03-5215-0878

http://www.doyu.jp/

共賛

沖縄県中小企業家同友会

〒901-0152

沖縄県那覇市字小嶺1831番地1 沖縄産業支援センター603号

TEL.098-859-6205 FAX.098-859-6208

http://www.okinawa.doyu.jp/

※1:琉球国時代「琉球はアジアの優れたところを集め、自然が豊かで美しい理想の島であり、万国の架け橋」と言われていました。
私たち経営者も志を高く持ち世界を結ぶ架け橋となり日本の未来を担う人物になろう!!(誠を貫けば道は拓ける!!)

第1分科会

中同協

企業づくりと
青年部活動は不離一体

青年部活動と企業経営は不離一体！

— 学んで実践し会社を発展させるには



コーディネーター 茨城同友会

(株)つくば食品 代表取締役
やまき だいすけ
八巻 大介氏



パネリスト① 茨城同友会

有限会社日青工業 専務取締役
あおき しげゆき
青木 恵之氏



パネリスト② 広島同友会

株式会社村上製作所 代表取締役
むらかみ りょういち
村上 令一氏



パネリスト③ 滋賀同友会

株式会社HONKI 代表取締役
いしかわ ともゆき
石川 朋之氏



パネリスト④ 宮城同友会

仙周工業(株) 代表取締役
さとう しゅうじ
佐藤 周司氏

われわれ青年経営者はなぜ同友会で学びかつ青年部活動を行うのか？そもそも青年部活動の本質とは何か？同友会活動と青年部活動は不離一体として実践している4名のパネリストから学びあいます。青年部活動で学んで実践し会社を発展させるにはどうするかなど参加者とともに深め合います。

第2分科会

中同協

次代のリーダーへの期待

未来を拓く「人を生かす経営」

— 伝統産業を生き抜く、情勢認識と経営戦略



株式会社宮崎本店
みやざき よしゆき
代表取締役会長 宮崎 由至氏

創 業 1846年
設 立 1951年
資 本 金 6,750万円
年 商 50億円(2017年9月)
社 員 数 66名
事業内容 酒類製造・販売
U R L <http://www.miyano-yuki.co.jp/>

清酒「宮の雪」をはじめ、キンミヤ焼酎などを製造する三重県一の酒類総合メーカーの6代目である宮崎氏は、38歳で社長に就任。清酒業界初の週休二日制の導入やIT化など業界の常識に捉われない革新的な経営を展開してきました。情勢認識のもと伝統産業を生き抜いてきた戦略と戦術、ブランド力の強化、事業承継など宮崎氏の実践報告からどんな時代にも対応できる強靱な企業づくり、経営者としてのあり方を学びあいます。

第3分科会

奈良

経営者の全人格的成長

社員と向き合う覚悟

— 輝くビジョンが私たちに強くする



アトリエステディ株式会社
たにぐち ひろずみ
代表取締役社長 谷口 裕純氏

設 立 2009年
資 本 金 300万円
年 商 1億2800万円
社 員 数 21名(内パート・アルバイト9名)
事業内容 貸衣裳・プロデュース・フォト
U R L <http://www.a-steady.com>

会社への不満が噴出し離職者が続く中さすがの思いで経営指針セミナーを受講、社員の幸せを考えていなかった自分に気づきます。そして、チーム一丸の会社になるためには会社のビジョン、互いの思いを真剣に語り合わなければならないと決意します。社長である前に人として自らを律し思いを伝え、相手の声に耳を傾ける。膝を詰め共に会社の将来を語り合う取組から、信頼関係を築く基礎となる自己姿勢の確立について学びあいます。

第4分科会

熊本

人を生かす経営の実践

業績向上は社員と共に

— 雰囲気づくりと仕組みづくりが企業を成長させる



株式会社マスナガ
もり ひろくに
代表取締役 森 弘国氏

設 立 1975年
資 本 金 1,200万円
年 商 6.6億円
社 員 数 18名
事業内容 機械工具・ネジ類の卸売
U R L <http://Msng.jp/>

祖父の代から続く家族経営のマスナガに入社。入社当時は「あるべき論」を掲げ、他者の意見には耳を貸さず、仕組みづくりに力を入れて来た。しかし、気づけば親族で構成された経営陣同士は衝突し合い、経営陣と社員との間には大きな溝が生まれていた。仕組みをつくったとしても機能することはなかったのだ。最悪の空気を一変させたのは同友会の先輩の助言であり、雰囲気づくりだった。

第5分科会 愛媛 経営指針の実践



有限会社三和興産
代表取締役 渡部 伸哉 氏

設立 1973年
資本金 300万円
年商 2億8,000万円
社員数 24名
事業内容 建設・土木事業

自己満足から自己変革への経営

— 社員さんから教えられた経営者の覚悟

渡部氏は先代のワンマン体制を変えようと同友会に入会しました。しかし、初めて成文化した経営指針は「社員さんのことが書かれていない。」と先輩会員から酷評され、社内発表でも社員さんは受け入れてくれませんでした。その理由が分からず迷走しながらも経営指針の更新を続けたある日、社員さんからの直言によってその理由が明らかになり、渡部氏の自己変革が始まりました。「経営指針が経営者の自己満足になっていないか？」を問う渡部氏の実践から人を生かす経営を学び合います。

第6分科会 香川 社員が輝く企業づくり



有限会社 生島興業
代表取締役 木村 征司 氏

設立 2000年
資本金 1,000万円
年商 2億2,000万円
社員数 17名(内パート・アルバイト1名)
事業内容 運送業・クレーンリース業・農工事
U R L www.ikushima-kogyo.com

社員と共に走り続ける企業へ

— 熱い仲間と俺物語

私利私欲で事業拡大させ、会社は自分のもの、社員は道具だと思っていた。会社の存続を左右する事故を起こし周りから愛想を尽かされる中、社員だけは味方でした。改めて社員の有難みを感じ、自分の為でなく社員の為に自身も会社も良くすることを決意。幹部と共に理念を形にするため同友会や青年部での学びを実践し、挑戦したからこそ見えてきた課題や、これからの未来を赤裸々に報告します。

第7分科会 京都 付加価値を高める



Nomura Art Plant
代表 野村 雅彦 氏

設立 2004年
資本金 0万円
年商 40,000,000円
社員数 5名(内パート・アルバイト3名)
事業内容 祭り衣装と和小物の製造販売
U R L <http://www.nomura-art.com/>

だから選ばれるねん!!

— 何の為、誰の為の付加価値か?

伝統ある京友禅染工場の家系に生まれた野村氏。染工場をクビになったことをきっかけに起業し、現在では日本全国から祭り衣装の注文が入ってきます。それは、『何の為、誰の為』を徹底的に追求し、『笑顔・感動・感謝』を創造しているから。同友会に入会しても、10年間参加しなかった野村氏がなぜ変わったのか。その実践報告から、付加価値、自社の存在価値を高めることを学びあいます。

第8分科会 兵庫 市場と雇用の創造



日新産業株式会社
専務取締役 橋崎 牧人 氏

設立 1962年
資本金 2,000万円
年商 5億6,700万円
社員数 22名(内パート・アルバイト2名)
事業内容 鉄鋼業界向けの鉄板加工販売業

まだここにはない未来は自分たちで創る

— 半端ないほど想い続け、やり続けて創り上げてきたもの

承継予定がなかった橋崎氏は、リーマンショックを機に突如会社に入ることになります。厳しい外部環境と旧態依然とした社内体制の中での再建は困難でしたが、「全て他責で、言い訳ばかりして人生を終えたくない」と覚悟を決め、同友会で学んだ経営指針・新卒採用・新たな事業戦略によってチームニッシンを創り、社員と共に「めっちゃくちゃオモロイ会社」づくりに挑戦しています。

第9分科会 愛知 岡山 変革と挑戦(創業者)



愛を知る経営者になろう!

— 社員と共に成長する会社づくり

株式会社リングス
代表取締役 佐藤 大貴 氏

設立 2007年
資本金 300万円
年商 5億円
社員数 15名(内パート・アルバイト150名)
事業内容 建設・土木事業
U R L FC飲食店経営 店舗開発

「社長、新店舗を出しましょう!」ある女性社員が声を発しました。佐藤氏はFC店から独立して起業して以来、愛を持って社員と関わっているのに、なぜ社員に伝わらないのだろう?と考えていました。しかし、原因が自分にあると気づき、社員を「知り、認め、活かす」経営を実践した結果、挑戦を声にできる社員が育ちました。本分科会では社員の変革で社業の新たな挑戦について学びあいます。



あなたの価値はいくらですか?

— 成長が見える化するシステムづくり

インフォポート合同会社
代表社員CEO 松山 将三郎 氏

設立 2015年
資本金 16万円
年商 7,242万円
社員数 12名
事業内容 システム開発、WEB制作等
U R L <http://info-port.jp/>

「自分の価値ってなんだろ?」サラリーマン時代に上司から評価ゼロを宣告され、独立後は仕事ゼロだった経験から、すっかり自信ゼロになった松山氏。ある同友会経営者と出会い、会社の売上・利益や社員の評価・幸福度などの「価値を上げる」大切さに気づく。創業3年で新卒・障害者含む社員11名を採用。ITで社員が「主体的に楽しく挑戦できる環境創り」に挑戦し続ける体験報告をします。

第10分科会 鹿児島 変革と挑戦(後継者)



株式会社寿産業
代表取締役 内田 敬之 氏

設立 1979年
資本金 2,000円
年商 9億円
社員数 43名(内パート・アルバイト9名)
事業内容 建設業、廃棄物業
U R L <http://kotobuki-sangyo.net>

立ち止まるな!!現状維持は退化の始まり

— 困難に立ち向かう経営者の覚悟

地元鹿児島に戻り代表取締役に就任するも、建設不況の真ただ中で様々な困難がありました。会社を成長させるため挑戦し続ける姿勢には「社員や関わるすべての人々を守る、福の神を目指す!」という強い思いがありました。また、鹿児島青年部会立ち上げから部会長として組織をけん引し、今年の1月には部会員100名を達成しました。「変革と挑戦」の企業づくり組織づくりを報告します。

第11分科会 大阪 事業承継



有限会社秋村泰平堂
代表取締役 秋村 敬三 氏

設立 1921年
資本金 300万円
年商 1億円
社員数 5名(内パート・アルバイト7名)
事業内容 各種お弁当・惣菜一式・製造加工販売・宴会料理屋
U R L <http://chochin.net/>

もらったバトンはあと3年!!

— 百年企業の未来予想図

4代目としてちょうちん屋を受け継いだ秋村氏。市場が縮小していく中、先代からの教えを守り取り組むがどうも釈然としない日々。同友会との出会いが姿勢を変え、新たな方向性を見出すまでに!100年企業が起す変化とは何か。未来をどう描くのか。本分科会では、次世代への事業承継について深く考え学び合います。

第12分科会 北海道 地域づくり



カドフーズ(株)
代表取締役 嘉堂 聖也 氏

設立 2010年
資本金 300万円
年商 4,500万円
社員数 7名(内パート・アルバイト5名)
事業内容 食品製造(冷凍食品)
U R L <http://www.kafukudokitchen.jp/>

街の課題が自社を強くする

— 魅力的な街 NO.1 函館の挑戦

多くの観光客が訪れる函館は、「魅力的な街NO.1」に選ばれていますが、土産店に並ぶお土産は他地域の商品が大半。そこで、カドフーズは地場で用途が限られていたさつまいもの付加価値を高める事業や高校生らを巻き込んだ事業で、地元新銘菓の商品開発を行い、土産店でのシェア拡大を目指しています。その過程で得たネットワークや今後の課題報告から、地域づくりを学びあい実践する契機とします。

第13分科会 沖縄・平和 特別分科会(平和)



沖縄大学
客員教授 新城 俊昭 氏

生年月日 1950年10月13日
出身地 沖縄県国頭郡本部町
最終学歴 立正大学文学部史学科卒業
職歴 県立高校教諭を経て沖縄大学客員教授
専門 琉球・沖縄史教育・平和教育

沖縄から見た「平和」の在り方

— 中小企業家として、どのようにして平和な世の中を創っていくか

アジア太平洋戦争では、沖縄だけでなく広島・長崎の原爆や東京大空襲などで多くの日本人が犠牲となった。特に、本土防衛のための唯一の地上戦で「捨石」とされ、戦後27年間も米軍統治下に置かれ、現在も約70%の米軍基地が集中する沖縄の被害は、本土の犠牲とは、比べることはできません。沖縄戦および戦後沖縄の歩みから、中小企業家として、どのようにして平和な世の中を創っていくか考える。

特別分科会のため
応募締切は、

●/●(●)まで

第14分科会 沖縄・地域づくり 特別分科会(地域づくり)



第一牧志公設市場組合
組合長 栗國 智光 氏

設立 1972年
事業内容 沖縄食材市場(県民の台所)
U R L <https://kosetsu-ichiba.com>



(有)アンテナ
代表取締役 石原 地江 氏

設立 1997年
資本金 500万円
年商 4900万円
社員数 8名
事業内容 通訳、インバウンド支援
U R L <http://www.antenna-okinawa.co.jp>



なはマチグワ-連携体
プロジェクトマネージャー 萩原 雄三 氏

設立 2016年
事業内容 新しい地域活性化連携
5者連携:那覇市中心商店街連合会(15商店街)・那覇市経済観光部なはまち振興課・那覇商工会議所・株式会社OTSサービス経営研究所・有限会社アンテナ
U R L <http://best-naha.com/>

那覇のマチグワ- (市場商店街)は戦後物資不足と混乱の中から自然発生的に始まった。闇市から複合商店街へ発展し「那覇の顔」と呼ばれる。米軍統治、本土復帰を経てマチグワ-は、川の上を500M続く水上店舗、アーケード、元気なおばあ達等の特色が根付きファンを引き付けている。しかし、建物の老朽化、事業承継、地域住民との距離、新時代の商店街は新たな課題を抱える。

特別分科会のため
応募締切は、

●/●(●)まで